

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成24年2月10日
【四半期会計期間】	第43期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社医学生物学研究所
【英訳名】	MEDICAL&BIOLOGICAL LABORATORIES CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐々木 淳
【本店の所在の場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	(052)238-1901（代表）
【事務連絡者氏名】	管理統括本部長 中井 邦彦
【最寄りの連絡場所】	名古屋市中区栄四丁目5番3号
【電話番号】	(052)238-1901（代表）
【事務連絡者氏名】	管理統括本部長 中井 邦彦
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第3四半期 連結累計期間	第43期 第3四半期 連結累計期間	第42期
会計期間	自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高(千円)	4,450,249	4,664,166	6,250,218
経常利益又は経常損失() (千円)	7,590	158,288	195,309
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失()(千円)	58,815	144,150	112,786
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	78,555	249,830	102,384
純資産額(千円)	4,258,709	4,390,441	4,234,881
総資産額(千円)	8,366,513	8,364,379	7,994,566
1株当たり四半期純利益又は四半期 (当期)純損失金額()(円)	3.43	8.40	6.58
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	50.1	52.1	52.1

回次	第42期 第3四半期 連結会計期間	第43期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日	自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益又は四半期 純損失金額()(円)	3.67	2.42

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第42期及び第42期第3四半期連結累計期間は、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。第43期第3四半期連結累計期間は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 売上高には、消費税等は含まれておりません。

4 第42期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第1四半期連結会計期間において持分法適用関連会社であった株式会社グライエンスは、増資引受により、持株比率が増加したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災後の落ち込みから夏場にかけて持ち直したものの、米国の景気回復の遅れ、欧州の債務問題、円高の進展などの影響で回復のペースが鈍化し、依然として不透明な状況で推移いたしました。

こうした中、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高46億64百万円（前年同四半期比4.8%増）、営業利益2億54百万円（同51.3%増）、経常利益1億58百万円（前年同四半期は経常損失7百万円）、四半期純利益1億44百万円（前年同四半期は四半期純損失58百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（試薬事業）

臨床検査薬分野では、当初は東日本大震災の影響による受診者の減少、3月に顧客において在庫を確保する動きがあったことの反動などがあったものの、その後は腫瘍マーカーの新製品発売及び保険適用による売上増により、売上高は前年同四半期を上回りました。

基礎研究用試薬分野では、国内研究機関への試薬販売は引き続きほぼ前年並みにとどまっているものの、グループ企業の技術を結集した総合受託サービスや抗体、国内製薬企業や海外への売上伸張により、全体の売上高は前年同四半期を若干上回りました。

以上の結果、試薬事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は46億62百万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント利益は2億71百万円（同48.7%増）となりました。

（その他事業）

その他事業においては、投資事業における手数料収入の減少により、当第3四半期連結累計期間の売上高は2百万円（前年同四半期比50.1%減）、セグメント損失は16百万円（前年同四半期は14百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、83億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億69百万円増加いたしました。

流動資産合計は、56億49百万円となり、3億51百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加1億98百万円ならびに商品及び製品の増加79百万円によるものであります。

固定資産合計は、27億14百万円となり、18百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の増加63百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、39億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億14百万円増加いたしました。これは主に、流動負債のその他に含まれる未払金の増加1億29百万円及び長期借入金の増加64百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、43億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億55百万円増加いたしました。これは主に、配当金の支払68百万円及び新株予約権の減少29百万円があったものの、四半期純利益1億44百万円の計上及びその他有価証券評価差額金の増加71百万円があったためであります。

これらの結果、自己資本比率は52.1%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、9億27百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月10日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	17,355,000	17,355,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	17,355,000	17,355,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	—	17,355,000	—	2,228,600	—	1,952,637

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 204,000	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 17,100,000	17,100	—
単元未満株式	普通株式 51,000	—	—
発行済株式総数	17,355,000	—	—
総株主の議決権	—	17,100	—

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（％）
株式会社医学生物学研究所	名古屋市中区栄四丁目5番3号	204,000	—	204,000	1.17
計	—	204,000	—	204,000	1.17

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について名古屋監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,880,916	2,079,438
受取手形及び売掛金	1,880,211	1,783,846
有価証券	3,496	4,202
商品及び製品	603,611	682,911
仕掛品	555,103	578,893
原材料及び貯蔵品	299,882	340,266
その他	90,921	196,411
貸倒引当金	15,869	16,267
流動資産合計	5,298,273	5,649,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	586,503	575,390
機械装置及び運搬具（純額）	89,592	82,647
土地	53,822	53,271
リース資産（純額）	94,188	104,795
建設仮勘定	27,950	45,040
その他（純額）	240,043	272,654
有形固定資産合計	1,092,100	1,133,799
無形固定資産		
のれん	163,269	122,583
その他	228,410	208,672
無形固定資産合計	391,679	331,256
投資その他の資産		
投資有価証券	227,153	291,021
長期貸付金	332,876	337,790
長期前払費用	320,771	283,127
その他	585,903	569,777
貸倒引当金	254,192	232,096
投資その他の資産合計	1,212,512	1,249,620
固定資産合計	2,696,292	2,714,676
資産合計	7,994,566	8,364,379

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	262,171	220,548
短期借入金	1,290,144	1,297,943
未払法人税等	28,176	35,605
その他	322,685	462,311
流動負債合計	1,903,179	2,016,409
固定負債		
長期借入金	1,696,803	1,761,590
その他	159,701	195,937
固定負債合計	1,856,505	1,957,527
負債合計	3,759,684	3,973,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,228,600	2,228,600
資本剰余金	1,952,637	1,952,637
利益剰余金	196,756	276,645
自己株式	43,002	43,189
株主資本合計	4,334,992	4,414,694
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,678	16,227
繰延ヘッジ損益	34,312	17,925
為替換算調整勘定	75,884	58,923
その他の包括利益累計額合計	165,875	60,620
新株予約権	43,893	14,288
少数株主持分	21,871	22,080
純資産合計	4,234,881	4,390,441
負債純資産合計	7,994,566	8,364,379

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	4,450,249	4,664,166
売上原価	1,511,741	1,550,237
売上総利益	2,938,507	3,113,928
販売費及び一般管理費	2,770,429	2,859,631
営業利益	168,078	254,297
営業外収益		
受取利息	7,805	6,334
保険解約返戻金	-	7,745
投資事業組合運用益	-	4,024
その他	16,904	10,384
営業外収益合計	24,710	28,488
営業外費用		
支払利息	32,637	32,914
持分法による投資損失	37,494	22,760
為替差損	117,770	68,368
その他	12,477	454
営業外費用合計	200,379	124,497
経常利益又は経常損失 ()	7,590	158,288
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,162	-
国庫補助金	7,546	6,750
投資有価証券売却益	2,820	1,833
新株予約権戻入益	-	29,605
特別利益合計	13,528	38,188
特別損失		
固定資産除却損	3,398	2,874
特別損失合計	3,398	2,874
税金等調整前四半期純利益	2,540	193,602
法人税、住民税及び事業税	58,079	48,600
法人税等合計	58,079	48,600
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 ()	55,539	145,001
少数株主利益	3,276	851
四半期純利益又は四半期純損失 ()	58,815	144,150

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	55,539	145,001
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,275	71,906
繰延ヘッジ損益	8,795	16,386
為替換算調整勘定	2,053	16,536
その他の包括利益合計	23,016	104,828
四半期包括利益	78,555	249,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80,380	249,404
少数株主に係る四半期包括利益	1,824	425

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
連結の範囲及び持分法適用の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間において持分法適用関連会社であった株式会社グライエンスは、増資引受により、持株比率が増加したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
-----	四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。 受取手形 37,612千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
減価償却費 207,401千円	減価償却費 211,861千円
のれんの償却額 44,856	のれんの償却額 45,088

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月23日 定時株主総会	普通株式	68,612	4	平成22年3月31日	平成22年6月24日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月23日 定時株主総会	普通株式	68,603	4	平成23年3月31日	平成23年6月24日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	試薬事業 (千円)				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	4,445,072	5,176	4,450,249	—	4,450,249
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	450	—	450	450	—
計	4,445,522	5,176	4,450,699	450	4,450,249
セグメント利益又は損失()	182,328	14,250	168,078	—	168,078

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオ関連企業への投資事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	試薬事業 (千円)				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	4,661,583	2,583	4,664,166	—	4,664,166
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	450	—	450	450	—
計	4,662,033	2,583	4,664,616	450	4,664,166
セグメント利益又は損失()	271,102	16,804	254,297	—	254,297

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオ関連企業への投資事業であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額又は 1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
1 株当たり四半期純利益又は四半期純損失金額 ()	3円43銭	8円40銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失金額 () (千円)	58,815	144,150
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は 四半期純損失金額 () (千円)	58,815	144,150
普通株式の期中平均株式数 (千株)	17,151	17,150
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要	—	新株予約権の権利行使期間 満了により、潜在株式 155,000株が消滅しておりま す。

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、前第 3 四半期連結累計期間は、1 株当たり四半期純損失
であり、また希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第 3 四半期連結累計期間
は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 2 月 8 日

株式会社医学生物学研究所
取締役会 御中

名古屋監査法人

代表社員 公認会計士 中田 恵美 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 足立 仁史 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社医学生物学研究所の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社医学生物学研究所及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- （注）１．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- ２．四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。